

## 2020年度以降の産業機械工業の低炭素社会実行計画

平成 27 年 11 月

一般社団法人日本産業機械工業会

### 1．国内の企業活動における 2030 年度の削減目標

2030 年度に向け、国内生産活動における CO<sub>2</sub> 排出量を 2013 年度比 6.5%削減することを目指す。

なお、この目標は、今後の国際情勢や経済社会の変化等を踏まえ、産業機械工業の低炭素社会実行計画を含め、必要に応じて見直し等を行う。

(実施期間：2021 年 4 月 1 日～2031 年 3 月 31 日)

### 2．低炭素製品・サービス等による他部門での削減

産業機械は、社会インフラや製造事業所等で恒常的に使用される機械である。産業機械業界は、省エネルギー製品の供給を通じて、製品の使用段階で発生する CO<sub>2</sub> 削減への取り組みを続ける。

### 3．国際貢献の推進（海外での削減の貢献）

世界に誇れる環境装置や省エネ機械を供給する産業機械業界は、持続可能なグローバル社会の実現に向けて、インフラ整備や生産設備等での省エネ技術・製品の提供を始めとする多角的で大きな貢献を続ける。

### 4．革新的技術の開発・導入

産業機械はライフサイクルが長く、製造段階と比べ使用段階でのエネルギー消費量が多いことが実態である。今後も関連業界と連携し高効率な産業機械の開発・提供を推進すると共に、ニーズ調査等に取り組む。

以 上